

JR土讃線高知駅周辺連続立体交差事業

～踏切の除却により、道路交通がスムーズになります～

事業主体：高知県

平成20年2月26日、JR土讃線高知駅周辺連続立体交差事業における鉄道の高架切替を行いました。

整備概要

- ・事業名 JR土讃線高知駅周辺連続立体交差事業
- ・事業区間 JR土讃線（高知市比島町2丁目～福井東町）
- ・事業延長 4,080m
- ・除却踏切数 11箇所
- ・事業年度 平成8年度～20年度
- ・高架化される駅 高知駅、入明駅、円行寺口駅
- ・事業費 約490億円

<連続立体交差事業とは？>

連続立体交差事業は、都市部における道路整備の一環として、鉄道の一定区間を高架化等することにより、多数の踏切を一挙に除却し、安全で円滑な道路交通の確保、地域の一体化等を促進する事業です。

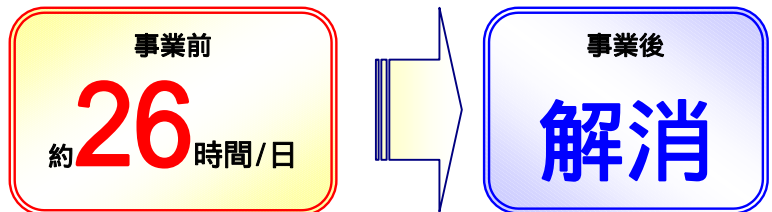
【道路交通面からの効果】

踏切が除却されることにより、踏切遮断が解消され、南北交通の通行がスムーズに！

踏切による渋滞状況(旧相生町踏切)



11箇所の踏切遮断時間の解消



例えば、相生町踏切では約3時間30分/日の遮断時間が0に！

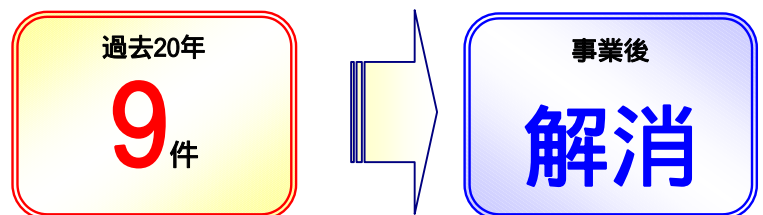
【安全面からの効果】

踏切が除却されることにより、悲惨な踏切事故を解消！



円行寺踏切

11箇所の踏切事故発生の解消



【まちづくり面からの効果】

鉄道高架により創出された新たな空間を、市街地における貴重な都市空間として有効活用！

景観に配慮された高架橋下で行われている金曜日（愛宕町）



鉄道高架により創出された高架下を
公園（比島）
高知駅東・西の自由通路
駐輪場（高知駅・入明駅・円行寺口駅）
トイレ（入明駅・円行寺口駅・愛宕町）
金曜日等広場
として有効活用！

北側の側道整備後、高架下を金曜市の通路として利用予定